

さがみはら

市史編さんだより

第39号

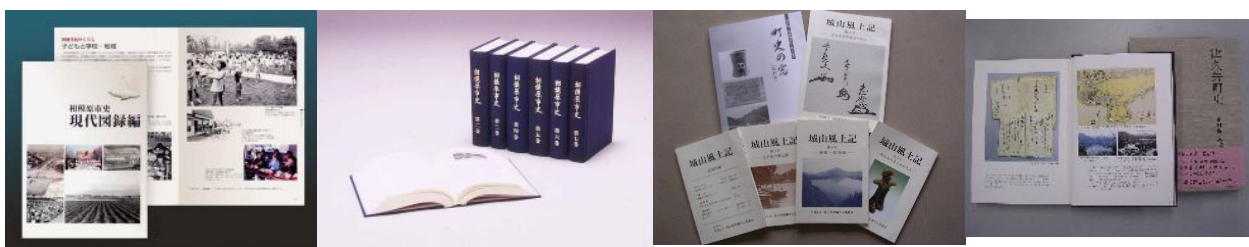
2007.11.1

新・相模原を「読む」

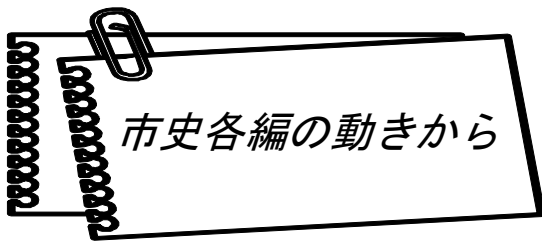


ずらりと並んだ市史・町史の数々。合併により、本市の刊行物として「津久井町史」「相模湖町史」「城山町史」「藤野町史」が加わりました。歴史・考古・民俗・自然など、ジャンルも多岐にわたります。読書の秋、相模原を知る書物に触れてみませんか。

(写真は市立博物館のミュージアムショップ)



左から 相模原市史現代図録編、同全7巻、城山風土記、津久井町史



資料選定がほぼ終了～現代資料編～

市史編さんだより第38号(2007.9.1)でもお伝えしましたが、10月までに掲載予定資料の選定を行いました。今後は原資料との校合・校訂作業を行うとともに、使用許諾が必要な資料についての所定の手続き等を行っていきます。来年春の刊行に向けて、ページ数・体裁などの仕様を決定し、印刷製本の発注作業へ入ります。



気象観測計器を設置～自然編～

都市化が急速に進んだ相模原市では、ヒートアイランドなどの都市気候現象がみられるようになりました。このため、各地域自治区を除く相模原市内の気温と湿度の分布を明らかにすることを目的として、市内小学校11校の百葉箱に、湿度温度計を設置しました。



8月下旬から設置を開始し、約1年間自動で継続的に観測を行っていきます。これらの結果は、2008(平成20)年度刊行の「自然編」に掲載する予定です。



構成案を検討～民俗編～

2009(平成21)年度刊行の「民俗編」は、写真を多用し、視覚的に市民の顔やふだんの生活が見える図録編のような構成にして行く全体像が示されました。今後は、写真と民俗事象を結びつけるための、聞き取り調査を進めます。



遺跡出土資料の計測・実測作業等が終了～考古編～

5月から開始した今年度の出土遺物整理作業は、場所を新磯野の埋蔵文化財整理室から市史編さん室事務室へ移し、実測等を行い、10月下旬に終了しました。これらの作業は、2011(平成23)年度刊行予定の市史「考古編」のための基礎調査で、成果の一部は本編の刊行前に調査報告書等で発表する予定です。



本格的調査開始を前に～文化遺産編～

9月15日(土)と10月20日(土)に部会を開催し、2014(平成26)年度刊行予定の「文化遺産編」の内容等について話し合いました。今後は、具体的な調査計画についても検討を進めます。

お知らせ

講演会

「建築文化からみた相模原と津久井」

日 時：平成19年11月24日（土曜日）午後2時～4時
（開場午後1時30分）

会 場：相模原市立博物館 大会議室（横浜線淵野辺駅下車
徒歩20分／路線バスもあります）

講 師：清水 擴さん（市史編集委員会文化遺産部会部会長・
東京工芸大学教授）

内 容：旧相模原市と旧津久井4町の、民家および神社本殿の形式や装飾などを比較することによって、建築文化からみた地域性の違いを明らかにしていきます。

対 象：どなたでも / 受講料：無料 / 定員：200人（当日先着順）



春日神社本殿（津久井町長竹）

市史編さん室のホームページをリニューアルしました

取扱い刊行物増加のため、販売関係のページを見やすくしました。また、津久井・相模湖・城山・藤野各町史を、それぞれ町史ごとのページとしました。

さらに、この市史編さんだよりについて、最近刊行されたものをPDFファイルでも掲載し、紙で配布された場合と同じイメージで読めるようにしました。今後バックナンバーすべてについて、同様の形式とする予定です。市史編さん室ホームページのアドレスは、4ページに掲載しています。

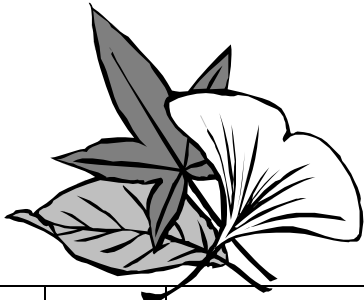


相模原市史関係の刊行物を販売しています

お求めは、市史編さん室・市立博物館・各行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送もいたします。



刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	各1,900～4,500円	A5判・598～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号～第4号	各350円～700円	A5判・102～127ページ	平成16年～毎年3月
旧石器時代遺跡資料調査報告書	1,400円	A4判・57ページ	平成19年3月



編さん室の動き（9月～10月）

月	日	内 容
9	1	「市史編さんだより第38号」発行
	8	近現代部会開催
	15	文化遺産部会開催
	19	自然部会（地形地質分野）開催
		自然編資料調査（北清掃工場）
	随時	現代資料編掲載資料の編集作業（選定作業）
	〃	考古編市内遺跡出土資料（縄文・弥生・古墳時代資料）の計測・実測作業等
10	9	考古編資料現地調査
	16	博物館の防災訓練に参加
	17	神史協研修会に参加（県立公文書館）
	18	気象観測計器設置（市内小学校3か所）及び既設置分からのデータ回収
	20	文化遺産部会開催
	21	民俗部会開催
	27	近現代部会開催
	随時	考古編市内遺跡出土資料の計測・実測作業等
	〃	現代資料編の編集作業（資料選定と校訂・掲載許諾手続き・仕様検討等）

新刊予告 相模原市史続編・待望の第二巻目

『現代資料編』 2008（平成20）年3月末刊行予定

戦後の相模原を明らかにする文書資料等を収録。詳細は今後の市史編さんだよりなどで。

「さがみはら市史編さんだより」第39号

発 行 2007(平成19)年11月1日

編 集 相模原市総務局総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19(市立博物館隣り)

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp> (相模原市トップページ)

(市のプロフィール⇒市史編さんについて、または観光・文化⇒市史編さん の順でご覧になれます。)